

(別添)

第48回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
養成施設教員等講習会実施要綱

1. 目的

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設の教員ならびに臨床実習施設における指導者の養成・確保を図るため、現在養成施設の教員等として勤務している者及び今後養成施設の教員等となることを希望する者に対し、より高度な知識及び技能を修得させ、併せて、リハビリテーションの質の向上に資することを目的とする。

2. 講習会の実施

講習会は厚生労働省及び(公財)医療研修推進財団の共催で(公社)日本リハビリテーション医学会、(公社)日本理学療法士協会、(一社)日本作業療法士協会、(一社)日本言語聴覚士協会、全国リハビリテーション学校協会の協力を得て開催する。

3. 実施方法及び開催期間

講習会の実施方法はオンライン開催とし、開催期間は次のとおりとする。(講習日は日曜日、祝日を除く、月曜日から土曜日に開催する)

開催期間	自 令和3年8月16日(月)
	至 令和3年9月4日(土)
実施方法	Zoomを使用したオンライン講習会

4. 受講対象者

次のいずれにも該当する者とする。

- (1) 理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の免許を有する者
- (2) 免許取得後、原則として教員は5年以上、臨床実習指導者は3年以上(言語聴覚士は5年以上)の実務経験を有する者
- (3) 本講習会修了後において理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の養成施設の教員等に従事する者及び将来従事しようとする者

5. 受講定員

理学療法士	65名
作業療法士	65名
言語聴覚士	20名

6. 受講申込

受講申込みを行う施設は、申込期限までに必要書類を用意の上、下記URLより申込みこと。

<http://www.pmet.or.jp/>の「講習会情報」メニューより

必要書類：施設長の推薦書（任意様式）・・・1部
受講者履歴書（写真不要）・・・1部
免許証のコピー・・・1部

問合せ先：(公財)医療研修推進財団 PT・OT・ST 事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル7階 TEL 03(3501)6592

申込期限：令和3年5月31日（月）

(留意事項)

- ・過去に本講習会を受講した職員がいない施設にあつては、申込みに際しその旨を付記すること。
- ・一つの施設が、同職種の講習会に2名以上申し込む場合は、優先順位を付記すること。
- ・受講決定後の取消し等は原則認めないので、勤務割等につき十分調整の上申し込むこと。（2名以上の申込みを行う施設は、特に留意すること）
- ・やむを得ず取り消す場合は、施設長の理由書を添えて書類送付先に申し出ること。
- ・申込書類に虚偽記載が有った場合には、受講開始後でも退席頂きます。
- ・国立ハンセン病療養所に所属する職員にあつては厚生労働省医政局医療経営支援課を経由して厚生労働省医政局医事課あて申し込むものとする。

7. 受講者の決定

厚生労働省及び(公財)医療研修推進財団が(公社)日本リハビリテーション医学会、(公社)日本理学療法士協会、(一社)日本作業療法士協会及び(一社)日本言語聴覚士協会、全国リハビリテーション学校協会の協力を得て選考し、決定する。

8. 講習会修了の認定

厚生労働省は、(公財)医療研修推進財団と連名で講習会修了者に対して修了証書を交付する。

9. 講習科目

別表のとおりとする。ただし、科目名及び時間数については若干変更することがある。

10. 受講料

70,000円(講習会受講料)

7,000円(消費税)

計77,000円

11. その他

- (1) 原則として講習の欠席は認められないので、留意すること。
- (2) 申込時にZoomアカウントを取得していることを必須とする。
- (3) Zoomへの参加に必要な環境は自身で用意すること。
- (4) Zoomのブレイクアウトルームにてグループワークを実施するためPCにて参加のこと。(スマートフォン、タブレット不可)
- (5) 受講のために要する費用(通信費等)は受講者負担とする。

(別表)

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会カリキュラム

区分	科目	時間数	内容
教職の意義等に関する科目	教員論	8	教師に求められる資質能力と役割、倫理性を理解する。
教育の基礎理論に関する科目	教育原理	8	「教育」に関する歴史・思想・理念及び「教育」という営みの意義と内容を理解する。併せて、行政的側面から教育制度論を学ぶ。
	教育心理学	10	学習者の心理的特徴を理解する。
	教育と社会・制度	10	教育に関する社会的・制度的・経営的な知識を身に付ける。
教育課程及び指導法に関する科目	教育方法学	12	教育方法の理論と方法を理解する。さらに学生に対する教育評価と教員に対する教育評価の在り方を学ぶ。
	道徳教育論	8	道徳教育の意義と内容を理解する。教育・研究における倫理・指導者-学生間のハラスメント理解を含む。
	教育方法演習	14	教育方法学を踏まえ、模擬授業等を通して、実践的な授業のあり方を実践的に理解する。
学生指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	学生指導及び進路指導論	8	学生指導及び進路指導の意義と内容を理解する。
	教育相談論	10	教育相談の意義と内容を理解する。
その他の教育論に関する科目	青年心理学	8	青年の心理的特徴を理解する。
	情報リテラシー論	10	情報活用能力と情報に対する批判的思考の意義と内容を理解する。
	国際理解教育論	8	グローバル化・多様化する社会における国際理解の意義と内容を理解する。
リハビリテーション領域の教育に関する科目	臨床教育学	8	教育機関での学生の管理ならびに、臨床実習での指導者の在り方について理解する。時代により変化する臨床実習での学生の管理ならびに、人間行動の科学的な分析を学ぶ。
	多職種連携教育論	6	多職種連携における問題点と解決策、コミュニケーションの在り方を理解する。
	特別講義	4	その時代の保健・医療・福祉に関するトピックスを理解する。
合計		132	

(1時間=60分)

講 師 三 石 初 雄

【一般目標】

教師のしごとと専門家の熟達化過程の考察から、これからの時代に生きる人間発達支援者像を考える。

【行動目標】

1. 学校・教職の発生過程での教師像を参考に、これからの専門職像を考えることができる。
2. 人間発達援助者としての専門性とその熟達化過程を考えることができる。

【授業形式】

講義と資料検討

【授業内容】

1. 学校・教職の発生過程にみる教師像を考える
 - 1) 「近代学校」の発足と教師像の変化
「産業革命」・近代化と学校
 - 2) 近代化過程での新しい学校像の出現と児童中心主義
 - 3) 人間発達援助職としての専門職性への注目
2. 人間発達援助者としての専門職性を考える
 - 1) ひとの“知的好奇心”“向上心”“自律性”に支えられた発達援助職
 - 2) 同僚性（チーム性）と専門職性の追求（内省支援と互酬性への着目）
 - 3) 人間発達援助者の熟達化過程を考える。

【教科書（著書・論文）】

資料を用意します。

【参考書（論文）】

中原 淳『職場学習論』（東京大学出版会）
波多野誼余夫・稲垣加世子『人はいかに学ぶか』
ベナー『ナースを育てる』

【その他・受講上の注意など】

受講者に、人間発達支援の専門家と教職専門家との共通性と差異性について意見交換ができる場になればと思っています。

講 師 成 田 喜一郎

【一般目標】

- ・これからの時代におけるカリキュラムデザイナーとして生きる「教員 (Educator)」をめざし始められるか。

【行動目標】

1. これからの時代が求めるカリキュラムデザインの背景にある様々な「観」を見通し見直すことができるか。
2. 自他のライフヒストリーの中で「教員 (Educator)」のあり方について、思考を拡張・深化できるか。
3. 自他共に“Contemplation & Reflection”を体験し、一般目標の達成をめざせるか。

【授業形式】

レクチャーとワークショップとを超えた「創発 (emergence)」への試み

【授業内容】

- ・起：講師紹介、本講義を超える Essential Questions と本講義の Goal の共有
- ・承：カリキュラムデザインのための様々な「観」を見通し見直すためのレクチャー
- ・転：「教員」として生きる意味について、他者および自己との対話をするワークショップ
- ・結：ミニ・エスノグラフィーを書き、本講義を見通し見直すワークショップ

【教科書 (著書・論文 等)】

●研究代表 河野桃子 (2021)『対話的手法を通じたホリスティックな教師教育プログラムの開発と検証』2018～2020 年度 日本学術振興会 科学研究費補助金・基盤研究(C) 研究報告書

https://jaierplt.blogspot.com/2021/03/blog-post_28.html

○日本ホリスティック教育協会編 (2017)『対話がつむぐホリスティックな教育：変容をもたらす多様な実践』創成社。

○成田喜一郎 (2013)「子どもと教師のためのオートエスノグラフィーの可能性：「創作叙事詩・解題」を書くことの意味」『ホリスティック教育研究』第 16 号, 日本ホリスティック教育協会、pp. 1-16. <http://laotao.way-nifty.com/islikewater/files/kodomokyouushio-to.pdf>

○成田喜一郎 (2012)「次世代型学校組織マネジメント理論の構築方法：「水の思想・川の組織論」の創成過程」『東京学芸大学教職大学院年報』第 1 集、pp. 1-12.

https://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/132037/1/AA12591409_01_01.pdf

【参考書 (Podcast RADIO・Web Site)】

●成田喜一郎 (2021)『自律的な学びに向かう 好きな時に聴き読み交わすラジオ「Lecture RADIO」』(Podcast) <https://tokinomahoroba.blogspot.com/2020/08/lecture-radio-2020qcue.html>

【その他・受講上の注意など】 ●印は事前に目や耳を通されたい

●成田喜一郎 (2020)「ライフヒストリーデザイン曼荼羅/ Mandala を描く前に」(Web Site)

<https://jaierplt.blogspot.com/2020/12/mandala-20201215.html>



⇐「教員論 (Educator) 論」↑Web Siteへ

講師 米山 光儀

【一般目標】

これまでの「教育」についての自身の考えを相対化し、「教育」とは何かを自分の言葉で語る事ができるようにし、教育をつかさどる教師の仕事ができるようになる。

【行動目標】

1. 教育を自分の言葉で定義できる。
2. 教育と「教える」「教授」などの関連概念との違いを説明できる
3. 目的像をめぐる教育者・被教育者・国家・保護者の関係を説明できる。
4. 歴史的視点で現在の学校を説明できる。
5. 教育基本法と自身の教育実践との関係を説明できる。

【授業形式】 講義

【授業内容】

- (1) 「教育」とは何か① グループワークでこれまでの自分自身の「教育」概念を確認する
- (2) 「教育」とは何か② 辞書的な教育の定義とその変遷
- (3) 「教育」とは何か③ 教育をめぐる二つの考え—手細工モデルと農耕モデル
- (4) 「教育」とは何か④ 新しい教育のモデル
- (5) 国家の教育目的像の変遷
- (6) 目的像をめぐる教師と教師の関係、教師と保護者の関係
- (7) 学校はどう発展してきたか
- (8) 現代日本の学校で何ができるか—教育基本法下での教育実践の可能性
なお、授業は、各項目1時間を予定している。

【教科書】

沼野一男ほか著『教育の原理〔第4版〕』学文社

【参考書】

奈良 勲『理学療法学教育論』医歯薬出版

解説教育六法編修委員会『解説教育六法 令和3年版』

【受講上の注意】

授業は講義が中心となりますが、グループワークに従事したり、発表してもらったりするので、問題意識を持って受講してください。

科目名 教育心理学

時間数 10時間

講師 高木幸子

【一般目標】

- ・効果的に学習を行うことを支援するために、身の回りの具体例を参照しながらヒトが学ぶ原理教育心理学視点からとらえ直す。具体的には、学びの仕組みや支援のあり方、学びの効果、今後の展望までを扱う。

【行動目標】

1. 学びの仕組みを理解して教育指導に活かすことができる。
2. 学びの発達過程を理解して教育の現場に反映させることができる。
3. 現在の学びのあり方を理解したうえで展望を予測し、学習要領に反映させることができる。

【授業形式】

講義およびグループディスカッション

【授業内容】

- 第1テーマ 教育心理学とは
- 第2テーマ 学ぶこと／わかること
- 第3テーマ 学びの理解
- 第4テーマ 学びの支援
- 第5テーマ これからの学習と教育
- 第6テーマ まとめ

【教科書】

使用しない

【参考書】

適宜紹介する

【その他・受講上の注意など】

グループディスカッションには積極的に参加してください。

科目名 教育と社会・制度

時間数 10時間

講師 上杉道世

【一般目標】

- ・教育と社会・制度の関係を理解し、今後の動向を把握する。

【行動目標】

1. 今日の教育や学校がどのようにして成り立っているか説明できる。
2. これからの社会の変化に応じて学校や教育がどのように変化していくかを考えることができる。
3. 現状と今後の変化の中で教師として何をなすべきかを把握できる。

【授業形式】

講義1時間とグループワーク1時間を交互に5回ずつ行う。

【授業内容】

- 第1回 今日の学校制度、教育関係法令はどうか。(講義)
- 第2回 コロナ対応で困難だったことは何か。(グループワーク)
- 第3回 学校と教育制度はどのように変化してきたか。(講義)
- 第4回 コロナ対応で今後に生かせることは何か。(グループワーク)
- 第5回 学校を取り巻く社会環境の変化と教育政策の動向。大学経営の改善の動向。(講義)
- 第6回 各学校では、経営に関しどのような課題があり、どのような改革に取り組んでいるか。(グループワーク)
- 第7回 今日の大学・学校教育の課題と改革の方向。(講義)
- 第8回 各学校では、教育に関しどのような課題があり、どのような改革に取り組んでいるか。(グループワーク)
- 第9回 近未来の学校を取り巻く環境の変化と学校の在り方。(講義)
- 第10回 各学校の近未来はどうか。どうしたいと考えているか。(グループワーク)

【教科書】

- ・『速解 大学教職員の基礎知識』2021年度改訂版(学校経理研究会 上杉道世編著)

【参考書】

- ・上杉道世『大学職員は変わる』(2009、学校経理研究会)
- ・上杉道世『大学職員は成長する』(2013、学校経理研究会)
- ・上杉道世『大学職員の近未来』(2016、学校経理研究会)
- ・上杉道世『大学職員のグランドデザイン』(2019、学校経理研究会)

【一般目標】

医療者教育で用いられる教育手法と教育内容を知る

【行動目標】

1. 学修理論（行動主義、構成主義、認知的徒弟制）を概説する
2. 学修方法、特に能動的学修の基盤概念を理解する
3. 学修評価について概説する
4. 医療者になるための態度教育の必要性を述べる

【授業形式】

テーマごとに授業を行う。今年度はオンライン授業なので、講義後オンライン上で質問を受けるが、今まで行っていたグループ討論は行わない。

【授業内容（テーマ）】

（予定）

1. 学習理論（行動主義、構成主義、状況論）と学修成果基盤型教育の考え方
2. 問題解決型能力を育てるための学修方法の理論・考え方
3. 学修評価としてテストの効用や筆記試験の限界、OSCE やパフォーマンス評価の意義
4. Fitness to Practise という医療者としての態度教育の在り方を考える。

【教科書】

なし

【参考書】

参考書というより、私のお気に入りの本

波多野誼余夫&稲垣佳代子：人はいかに学ぶか. 中公新書 907 1989年、知的好奇心. 中公新書 318 1973年、無気力の心理学. 中公新書 599 1891年.

必要な推薦図書は授業中に紹介します。

【その他・受講上の注意など】

最も大事なものは、受講者ご自身の「教育経験」です。私の話が受講者の方々の「教育経験」を振り返り、新しい気付きのきっかけになったとしたらいいな、と思っています。本当は受講者同士で「経験の共有」をしてほしいのですが、オンラインではなかなか難しいのと、私にそれだけのオンライン授業「技法」がないことをお詫びします。

科目名 教育方法演習

時間数 12時間

講師 福島 統

【一般目標】

教育方法学や関連する講義を参考に、授業設定を作成し模擬授業を行う。また、学生の立場や多方面から効果的な授業方法を検討する。従前は受講者6～8名の小グループを作り、各グループに「模擬授業」をして頂き、その「模擬授業」を学生役の受講生の方々に「授業研究」として議論していただいていた。今年度は残念ながら、今までのことができませんので、医療者教育に関するテーマの講義をします。【到達目標】と【授業形式】はコロナ以前のものを参考として掲載します。2021年度は【授業内容】に刺したテーマの講義をします。

【到達目標】（参考までにコロナ以前の到達目標を載せます）

1. 適切な一般目標を設定できる。
2. 一般目標を達成するための、適切な到達目標を設定できる。
3. 目標の到達度を測定できる評価方法を提示できる。
4. 目標を達成するための効果的な教育方法を提示できる。
5. 模擬授業を適切に運営できる。
6. 模擬授業を評価できる。

【授業形式】（参考までにコロナ以前の到達目標を載せます）

1. 模擬授業の形式（大講義、PBL、TBL、WS形式等）ごとにグループを作る。各グループで①その授業での到達目標、②教育方法（授業のすすめ方）、③授業中、授業後のフィードバック法、④授業評価アンケート用紙を作成する。
2. 模擬授業の実施。
3. 模擬授業の振り返りと、観察者からのフィードバック。

【授業内容】2021年度の講義テーマ

- ① チーム医療と患者安全、② 成人学修理論とキャリア教育、③ 職業教育とリカレント教育、④ 医療提供と医療経済、⑤ 何でも質問コーナー（最後の講義日）

【教科書】

なし

【その他・受講上の注意など】（参考までにコロナ以前の到達目標を載せます）

グループによる模擬授業を中心とする。自分のグループでの共同作業で授業を作る。他のグループの授業を批判的に観察し、授業改善の方法を主体的に考えていく。

【一般目標】

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員として、医療の場で求められる「倫理」と「道徳」、その理由を理解し、授業に活かす。

【行動目標】

1. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の職業倫理を理解する。
2. 医療の場の倫理で基本となる考え方を理解する（インフォームド・コンセント、守秘義務／プライバシー権／個人情報保護）。
3. 医療の場の倫理原則と倫理課題に対応する政策の二つの方向を理解する。

【授業形式】

講義

【授業内容】

1. 医療専門職の職業倫理と生命倫理

医療専門職は、前世紀後半以降展開されてきた生命倫理の議論を踏まえて、新しい倫理を自ら定めている。新しい倫理の中核をなすのは患者の自己決定の尊重である。

2. 医療の場における基本的な倫理

- 2.1. インフォームド・コンセント だれがルールにしようとしているのか
- 2.2. 守秘義務／プライバシー権／個人情報保護 どのような関係にあるのか

3. 倫理原則と生命倫理政策

3.1. 倫理原則の役割

医療の場で求められるさまざまな倫理的判断に共通する根拠として、いくつかの倫理原則が提案されている。その一つである患者の自己決定を尊重するということは、インフォームド・コンセントの、そして個人情報保護の根拠とされている。

3.2. 生命倫理政策の方向

医療は自己決定ができない人（乳幼児、認知症患者など）にも提供されるが、その人についての決定は、特定の人（親、親族）に委ねられる、社会が引き受ける、という二つの方向がある。個人の選択と社会による保護および規制との関わりが問題となる。

【教科書】

なし

【参考書】

赤林朗他：入門医療倫理 I．勁草書房 改訂版 2017

服部健司，伊東隆雄：医療倫理学の ABC, 2 ed. メヂカルフレンド社 2012.

科目名 学生指導及び進路指導

時間数 4時間

講師 山田千鶴子

【一般目標】

新指定規則に基づいた適切な臨床実習指導を行うために、留意する点を理解する。

【行動目標】

1. 診療参加型臨床実習で、臨床実習指導プログラムを立案できる。
2. 診療参加型臨床実習で行った臨床実習で学生評価を実施できる。

【授業形式】

講義およびグループディスカッション

【授業内容】

講義と演習

【教科書】

なし 資料配布します

【参考書】

なし

【その他・受講上の注意など】

科目名 学生指導及び進路指導論

時間数 4時間

講師 中村 伴子

【一般目標】

- ・適切な学生指導を行うために、留意するポイントを理解する。

【行動目標】

1. 青年期の対象者を指導する時の留意点を挙げることができる。
2. 上記1) を念頭において学生指導に生かすことができる。

【授業形式】

講義およびグループディスカッション

【授業内容】

講義と演習 「学生の指導場面で遭遇する様々な問題と学生を指導するときの留意点」

【教科書】

必要な資料を配付します

【参考書】

なし

【その他・受講上の注意など】

特になし

科目名 教育相談論

時間数 10時間

講師 新井 一 央

【一般目標】

- ・ 学生や学生のご父母のために必要とされ実施する「教育相談」を皆で考え理解する。
- ・ 学生たちがそれぞれ理学療法士・作業療法士そして言語聴覚士を目指し、さまざまな人間関係を理解するために、先生方が自らの教育を目指し語りながら、学生の成長を実施する。

【行動目標】

1. 学校の教育に関する知識や活用する力の習得とコンピテンシーの習得を理解し実行する。
2. 皆さんが考える教育相談の内容や方法、またどこで学生たちと相談を受けるか。
3. 講師である私が経験した「くも膜下出血」と「失語症」を授業の内容に考える。

【授業形式】

- ・ 講義以上にグループワークを考え、皆さんの意見を発表する。

【授業内容】 状況に応じて内容を変更する場合があります。

1. 自分たちの自己紹介をグループ内で全体に発表する。
2. 自分たちの学校を学生の父親や母親に理解させる文章を考え、グループで発表する。
3. 学生にとって大切な教育や問題を明らかにし、ディスカッションをもとにグループ内で話し合い、他のグループに意見を発表する。
4. 講師による経験や考え方を皆さんに発表する。
5. 講師の経験や考え方を皆さんがどう考えるか議論して発表する。
6. 私が経験した「くも膜下出血」での体験をPower Pointで作成したので、皆さんとともに学生への授業に役立つように意見交換できると幸いです。

【教科書】 配布資料により授業を実施します。

【参考書】 授業中に適宜紹介します。

【その他・受講上の注意など】

私自身がまだまだ言語聴覚に問題があることも承知しています。皆さんにとってご不満な点もあるかと思いますが、教育相談による皆さんの教育環境整備や学生の成長充実に影響を与えると幸いです。

科目名 青年心理学

時間数 4時間

講師 伊藤英夫

【一般目標】

発達障害を持つ実習生への対応を理解する。

【行動目標】

1. 成人期の発達障害の特徴を理解できる。
2. 発達障害を持つ学生の支援ができる。

【授業形式】 講義

【授業内容】

自閉症の脳機能と知覚機能・発達障害の増加傾向
修学支援
個別支援
医療・保護者との連携と二次障害の予防

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【その他・受講上の注意など】

科目名 青年心理学

時間数 4時間

講師 杉村 夕

【一般目標】

青年期の心理・発達の特徴を理解し、学生対応に活かすことができるようになる。

【行動目標】

1. 生涯発達、特に青年期の発達および発達課題について理解できる。
2. 青年期に生じやすい精神的、心理的問題について理解できる。
3. 事例検討を通して、学生対応について多角的な視点で検討することができる。
4. 上記を踏まえ、学生に対応することができる。

【授業形式】 講義

【授業内容】

- 生涯発達と青年期の発達課題
- 青年期に生じやすい精神的・心理的問題
- 学生相談室からみた学生像
- 事例検討
- まとめ 学生対応のポイント

【教科書】 特になし

【参考書】 その都度紹介する

【その他・受講上の注意など】

科目名 情報リテラシー

時間数 10時間

講師 菅 沼 太 陽

【一般目標】

医療者教育の中で、「情報」の活用法、倫理、リスクを理解する。

【行動目標】

1. 効果的なeラーニングにおける教材の要件を説明できる。
2. 学術的根拠を探る手法を説明できる。
3. 著作権について説明できる。

【授業形式】

講義とグループワーク

【授業内容】

- 第1回 インストラクショナルデザインについて
- 第2回 インターネット利用の注意点
- 第3回 インターネット利用に関する問題点（ディスカッション）
- 第4回 著作権の問題（ディスカッション）
- 第5回 著作権について
- 第6回 文献の利用

【教科書】

配付資料

【参考書】

なし

【その他・受講上の注意など】

科目名 国際理解教育論

時間数 8時間

講師 湯本浩之

【一般目標】

今や80億人に迫る人々が暮らす地球社会は、貧困や格差、環境破壊や人権侵害、民族対立や地域紛争などの地球規模の諸問題に直面しており、これらの喫緊な問題を早急に解決していくことが人類共通の課題となっています。この授業では、こうした地球的課題（global issues）やこれに取り組む教育活動について理解を深めます。

とくに、2030年までの達成が公約されている持続可能な可能な開発目標（SDGs）の中の教育目標やそこに盛り込まれている持続可能な開発のための教育（ESD）などに着目して、グローバル時代の教育の課題や今後の役割を検討します。

【行動目標】

①現代社会を批判的（critical）に読み解き、地球的課題の現状やその要因に対する認識や理解を深める。

②従来の「知識伝達型の教育」とは異なる「参加体験型の学習」の意義や方法論に対する認識や理解を深める。

③「共に生きる」ことのできる公正かつ平和で持続可能な地球社会の実現に向けて「教育」の果たすべき役割やその可能性について構想する。

【授業形式】

オンラインによる講義とグループワーク

【授業内容（予定）】

①国際理解教育の類型と歴史的変遷

②地球的課題（global issues）と教育

③グローバル社会を読み解くキーワード

④SDGs（持続可能な開発目標）とESD（持続可能な開発のための教育）

【教科書】

使用しません

【参考書】

『グローバル時代の「開発」を考える：世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』西あい・湯本浩之（共編著）、明石書店、2017年。

『SDGs学習のつくりかた：開発教育実践ハンドブックⅡ』開発教育協会（編集・発行、2021年）。

『SDGsで変えるこれからの学び』新教育ライブラリ Premier Vol.1、ぎょうせい、2020年。

『知る・わかる・伝える SDGs I : 貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生』阿部治・野田恵（編著）、日本環境教育学会（監修）、学文社、2019年。続編が刊行予定。

『国際理解教育を問い直す：現代的課題への15のアプローチ』日本国際理解教育学会（編著）、明石書店、2021年。

『SDGs（持続可能な開発目標）』蟹江憲史（著）、中公新書、2020年。

【その他・受講上の注意など】

- ①この講習では、ZOOMの「ブレイクアウトルーム」や「ホワイトボード」の機能を活用したグループワークを行います。「ホワイトボード」はグループで白紙の画面を共有して、文字などを互いに書き込んでいくため、使用端末はスマートフォンよりも、パソコン（WindowsまたはiOS）やタブレット（iPadなど）の方が操作しやすいです。なお、iPhoneでは「ホワイトボード」の「書き込み」機能が使用できませんこと予めご了解ください。Android系のスマートフォンは「書き込み」可能です。
- ②また、この講習では資料映像を視聴しますが、著作権法の関係で、受講者の皆様が各自でYouTube等にアクセスしていただきますこと、予めご了解下さい。
- ③グループワークでは、進行や記録などの役割を分担して、議論や協働作業を行いますので、受講者の皆様の自主的かつ積極的なご参加をお願いいたします。

講師 諏訪 茂 樹

【一般目標】

他の職種に依存するのではなく、他の職種と対等な立場で連携できる自立した専門職を育てることにより、本来の意味でのチーム医療が可能になり、患者・利用者中心の質の高い全人医療も、医療安全も実現することができる。学生やスタッフの自立度に応じてティーチングとコーチングを使い分けながら、自立した専門家を育てる教育方法について、講義と演習（体験型アクティブラーニング）を通して学ぶ。

【行動目標】

1. 全人医療と医療安全を実現するチームや組織のあり方を説明できる。
2. 自立度に応じたティーチングとコーチングの使い分けが分かる。
3. 効果的なティーチング（指示と助言）の方法を理解し、実践できる。
4. 本来のコーチングを理解し、実践できる。

【授業形式】

講義及び演習（体験型アクティブラーニング）

【授業内容】

1. 自立した専門家のための組織とマネジメントと教育（講義）
 - ・ 専門家からなる真の意味でのチームと組織の在り方
 - ・ 専門家を育てるティーチングとコーチング
2. ブラインドワーク（演習）
 - ・ 効果的な指示の方法
3. アドバイザートレーニング（演習）
 - ・ 効果的な助言の方法
4. コーチングのロールプレイ（演習）
 - ・ 効果的なコーチングの方法

【参考書】

1. 諏訪茂樹『対人援助のためのコーチング』中央法規出版
2. 諏訪茂樹『看護にいかすリーダーシップ 第3版』医学書院

【その他・受講上の注意など】

参加人数に応じてメンバーを自動入替えしながら、3～4人一組のセッションでロールプレイ等の演習を数多く行います。そこで、当日はお一人1台の端末（PC、タブレット、スマートフォン等）でご参加下さい。また、Google フォームを利用したリアクションを数回送信してもらいますので、次のアドレスをコピー願います。 <https://forms.gle/kqP9RkqNmpB76zbv6>



講師 大嶋伸雄

【一般目標】

1. 多職種連携教育の歴史と概要について学ぶ
2. 学際教育としての多職種連携教育と臨床における多職種連携協働の関係性を理解する
3. 多職種連携教育におけるマネジメント教育の意味と意義，および多職種連携協働におけるマネジメント実践の観点から専門教育を構築するための基盤を育む

【行動目標】

1. 多職種連携教育の歴史と概要について述べることができる
2. 多職種による連携協働を目的とした学際教育である多職種連携教育と，臨床における多職種連携協働の関係性から，専門教育にそれらの理論と知識を反映させることができる
3. 多職種連携教育におけるマネジメント教育の視点を教育カリキュラムに反映させて，効果的な教育を行うための具体案について述べるができる

【授業形式】

- ・講義
- ・演習型式 (Group Work)

【授業内容】

- ・ Interprofessional Education (IPE) について
- ・ 英国における IPE の発展
- ・ IPE 理論の応用
- ・ 日本におけるチーム医療，チーム・ケアの歴史と経緯
- ・ IPE および Interprofessional Collaboration (IPC) の発展
- ・ IPC におけるマネジメント論
- ・ IPE、IPC の実践①：Disaster Management の Group Work
- ・ IPE、IPC の実践②：地域医療ケース教材 Group Work

【教科書】

- ・ ハンドアウトを配布する
- ・ 可能であれば以下の教科書を購入して頂きたい（とくに教員の方）。

○ 大嶋伸雄・編著「はじめての IP-連携を学びはじめる人のための入門書-」ラーニングシリーズ I P 第3巻 /保健・医療・福祉専門職の連携教育・実践. 協同医書出版. 2018

【参考書】

○ ラーニングシリーズ I P (1, 2, 4, 5 巻) /保健・医療・福祉専門職の連携教育・実践. 協同医書出版. 2018

○ 野中 猛：多職種連携の技術（アート）—地域生活支援のための理論と実践. 中央法規出版. 2014

【その他・受講上の注意など】

・PT・OT 養成校指定規則で「多職種連携」が必修化されています。具体的なカリキュラムの構築と、教育方法についてもお伝えいたします。

特別講義

時間数 4 時間

講 師 陣内大輔・黒澤和生

講義Ⅰ（陣内大輔）：「理学療法士作業療法士指定規則・言語聴覚士指定規則改定の動向」

【内容：2 時間】

2020 年度入学生から改定理学療法士作業療法士指定規則が適用された。

改定指定規則に準拠したカリキュラムでの教育が開始され、既に関係団体により臨床実習指導者講習会が全国で開催され、臨床実習のあり方も変化している。さらに理学療法士作業療法士専任教員養成講習会の開催指針についても発出され、数年後の改定が待たれるところである。改定の経過、その後の動向、次回改定に向けての課題等に触れる。

また、「言語聴覚士養成所指定規則の改正要望について」も取りまとめられている。

今後の動向を注視したい。

講義Ⅱ（黒澤和生）：「コロナ禍におけるオンライン授業の進め方」

【内容：2 時間】

1. 学校協会アンケート調査結果（教育委員会：浅井仁）報告
（PT・OT・S T 各学校養成施設における総合臨床実習（令和 2 年度）の遂行状況及び令和 3 年度の総合臨床実習計画等、総合臨床実習変更に伴う対策とその工夫等）
2. オンライン授業の進め方と実習中止に伴う学内代替実習について
3. 今後の展望について